

# アま市議会だり



<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>



あま市消防団観閲式・消防技術大会（10月19日 美和グラウンドにて）

9月定例会のあらまし

平成25年度決算審査の概要

一般会計補正予算

市政を問う(14議員が一般質問)

審議結果一覧

2ページ

3ページ

7ページ

9ページ

18ページ

# 9月定例会のあらまし

## 平成25年度決算10会計を認定

9月定例会は、9月4日から10月1日まで開かれました。

平成25年度決算認定について、所管の各常任委員会において会計ごとに慎重な審議を行い、本会議において原案のとおり認定しました。

市長から条例制定、一般会計補正予算など13件が提案され、すべて原案のとおり可決しました。

また、請願3件、陳情1件を審議し、請願1件、陳情1件を採択と決定し、議員発議の意見書を1件可決し、28日間の会期を閉じました。

### 決

算の認定では、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額458億9799万円、歳出総額433億8582万円を認定。企業会計では、水道事業会計決算および病院事業会計決算を認定しました。(3ページに掲載しています。)

### 子

ども・子育て関連3法が成立し、子ども・子育て支援新制度が創設されたことに伴い、幼児期の学校教育や保育に関する基準を定める3つの条例が制定されました。

### 補

正予算は、一般会計で12億8872万3千円を追加し、268億3829万6千円としました。

追加された内容は、水痘(水ぼうそう)ワクチンおよび高齢者肺炎球菌ワクチンが定期予防接種化されたことによる費用、児童クラブ室を七宝小に増設および秋竹小に新設するための工事請負費、大地震発生時に自動解錠するキーボックスを避難所となる小中学校に設置する費用、文化財の試掘確認のための調査委託費、財政調整基金および公共下水道基金への積み立てなどです。

また、6つの特別会計に総額7億7849万1千円を追加しました。(7ページに掲載しています。)

### 市

長の報告では、平成25年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」が報告されました。健全化判断比率の

うち、いずれかの比率が早期健全化基準以上になった場合、「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化を図ることになります。が、あま市においては、いずれの比率も基準を下回っています。

### 義

務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書案が議員より出され、全員賛成で可決し、国の関係機関に提出しました。

### 一

般質問は、9月11日に行われました。14人が登壇し、市の行政全般について多岐にわたって質問が出されました。(質問の内容は10ページから16ページに掲載しています。)

## 平成 25 年度各会計別決算額

区 分		歳入額	歳出額	
一 般 会 計		279 億 2925 万 1125 円	265 億 1162 万 9122 円	
特別会計	国民健康保険	101 億 6240 万 0393 円	94 億 7635 万 5437 円	
	土地取得	63 万 9808 円	63 万 9808 円	
	簡易水道事業	5002 万 7620 円	4516 万 8910 円	
	市営住宅管理事業	9160 万 5832 円	8939 万 0578 円	
	介護保険	保険事業勘定	42 億 9648 万 8503 円	41 億 2175 万 6282 円
		サービス事業勘定	2840 万 8894 円	2113 万 0970 円
	公共下水道事業	18 億 5810 万 5413 円	16 億 5895 万 3743 円	
	後期高齢者医療	14 億 8105 万 7967 円	14 億 6079 万 7600 円	
合 計		458 億 9798 万 5555 円	433 億 8582 万 2450 円	
区 分		収入額	支出額	
企業会計	水道事業会計	収益的収支	7 億 5050 万 8591 円	7 億 3630 万 0255 円
		資本的収支	9230 万 2245 円	2 億 2725 万 1234 円
	病院事業会計	収益的収支	21 億 2690 万 1664 円	22 億 7359 万 7697 円
		資本的収支	11 億 1941 万 5000 円	7 億 4646 万 0212 円

# 平成 25 年度 各会計決算審査の概要

## 一般会計

### 主な質疑

### 受益と負担の バランス

**問** 前年度との比較は。  
**企画財政部長** 純資産変動計算書の期首と期末の残高で見ると、約3億円純資産が減少しており、24年度よりも約7700万円分悪化している。

**問** 課題は。  
**企画財政部長** 物件費などの行政コストのさらなる抑制や、自主財源の確保などが課題と考えている。

## 経常収支比率

**問** 悪化した要因は。  
**企画財政部長** 市税などが増加したものの、それ以上に扶助費、公債費および物件費などが増加したことが要因と考える。

**問** 目標値は。  
**企画財政部長** 県内市平均よりも常に下回るように努力する。

## 法人市民税

**問** 前年度より減額の要因は。  
**総務部長** 法人税率の引き下げによるほか、設備投資により税額が大幅に減少した法人があったことなど。

## 職員研修

**問** 接遇研修は全職員が受けるべきでは。  
**企画財政部長** この研修は、実践的な内容を少数で効果的に行っている。全職員を対象として実施するためには、膨大な開催回数が必要となるので、通常業務に支障を来さない範囲内で、今後も継続して実施していきたい。

## 時間外勤務

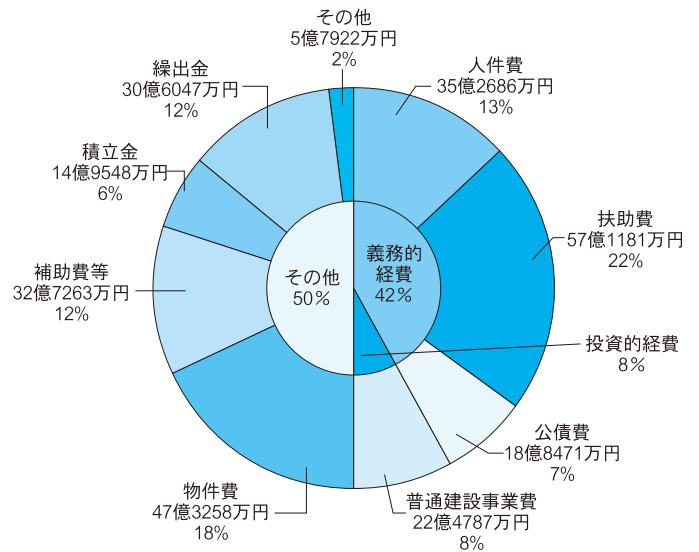
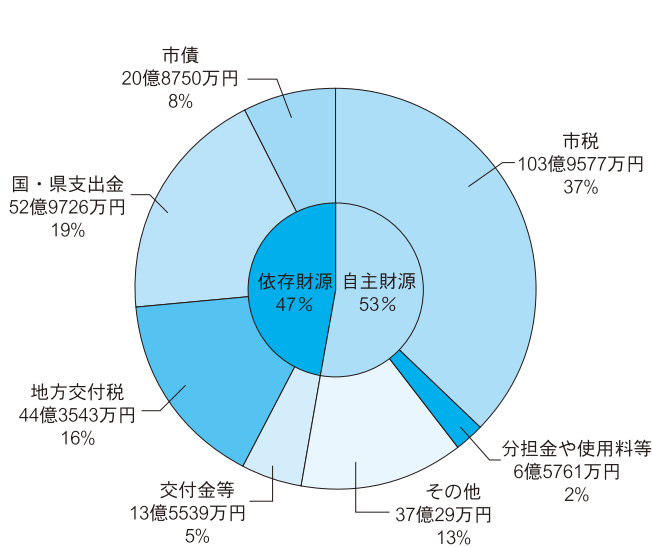
**問** 職員全体の時間外勤務の状況は。  
**人事秘書課長** 前年度と比べ、約5・6%増加している。



## 一般会計決算の内訳

歳入 279 億 2925 万円

歳出 265 億 1163 万円



名称	解説
自主財源	市が自主的に収入できる財源
依存財源	国や県の意思によって定められた額を交付される財源
地方交付税	公的サービスに格差が生じないように、国が地方公共団体の財政力を調整するために交付するもの
国県支出金	国や県からの補助金など
市債	市が歳入の不足を補うために発行する債券
義務的経費	支出が法令などで義務付けられ、任意に削減できない性質の経費
投資的経費	各種社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費
扶助費	障害者福祉や老人福祉、児童福祉など、社会保障制度の一環として、対象者に対して支給される経費
公債費	市が借り入れたお金の返済に使われる費用
普通建設事業費	道路、学校、公園などの公共施設の建設や用地取得などに必要な経費
物件費	人件費、扶助費、維持補修費などを除く、支出の効果が短期間で終わる費用
補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など
積立金	基金などに積み立てるための費用
繰出金	一般会計と特別会計、または特別会計間で支出される経費

(3ページからつづく)

## 行政改革推進委員会

問 委員構成は地域間で公平か。

企画政策課長 審議の内容が市の地域性にかかわるものではないため、委員の地域間の公平性については、配慮していない。

## 水質汚濁調査

問 河川の生物化学的酸素要求量が、基準値を超過している地点があるが、対策は。

環境衛生課長 原因としては生活排水が考えられる。市民に協力いただくため、日ごろから広報、ホームページで生活排水の適正な処理についてPRしている。

## 防犯灯

問 市所有の防犯灯維持管理費の内訳は。

総務部次長兼安全安心課長 電気料金152万2355円、球切れなどの修繕18万3798円、移設工事など2万4150円であった。

問 市所有の防犯灯のLED化は。

総務部次長兼安全安心課長 各区の防犯灯を優先的に進めているので、そちらが終わり次第、財政課と協議して随時かえていきたい。

問 各区が所有する防犯灯のLED化率は。

総務部次長兼安全安心課長 約17%となっている。

## 予防接種

問 予算に対して決算額が大きく下回った理由は。

市民生活部長 子宮頸がん予防ワクチン予防接種が6月から積極的な接種勧奨を差し控えられたため。

## 保育園臨時職員

問 賃金増加の要因は。

人事秘書課長 育児休業職員の代替および低年齢児の増加に対応するために臨時職員を増やしたため。

## 坂牧東交差点

問 進捗状況は。

土木課長 平成25年度末であま市の用地取得進捗率は約10%、県の用地取得進捗率は約16%であった。

## 都市緑化推進

問 補助件数の内訳は。

建設産業部長 緑化ブロック設置による駐車場緑化が1件、芝生および樹木の植栽による空地緑化が1件、両方の緑化が1件あった。



緑化ブロック

## 木田駅周辺整備

問 安全安心整備工事の内容は。

都市計画課長 市道木田52号線に径800ミリのカーブミラー1基の設置と市道木田53号線に延長128メートルの区画線を設置した。

## 新規就農・農地集積支援事業

問 希望農家数、条件を満たす農家数、補助を受けた農家数は。

産業振興課長 希望農家数41件、条件を満たす農家数11件、補助を受けた農家数1件であった。

## 街路整備費

問 増額の理由は。

都市計画課長 工事発注後、未買収地の一部の用地が取得でき、追加の整備工事を実施したため。

でわからないところは個別に説明をした。

## 学校プール開放事業

問 プール開放を3校以外に拡充する考えは。

教育部長 今後も現在の3校で実施していく方針である。

## 給食センター

問 調理員などに対する安全対策、指導は。

教育部長 県および海部地区において、年に各1回の研修に栄養士と調理員が参加している。日ごろも、学校給食センターにおいて、栄養士が調理員に対して、安全対策、衛生面においても指導を行っている。

(6ページにつづく)

## 討論 (要旨)

### 【反対討論】

**加藤哲生** 評価できるものもあるが、小中学生対象の学校プール開放は、多くの市民が利用した。市営プールを改修して高齢者などの健康増進のため、全ての住民に提供していく必要がある。

また、25年度決算では、副市長2人分の人件費が組まれた。職員を増やさない状況で、副市長を2人にする事で、職場が疲弊してしまう。住民にとって必要なのは、目が行き届くサービスであり、全く理解できない。

住民の暮らしを守り、健康で安心・安全を守り、福祉を向上させる本来の役割をまだ果たしていない。

### 【賛成討論】

**橋口紀義** 防災体制整備の強化を目的としたコミュニティFM放送局の補助や防災専門員の配置、老朽化した火の見やぐらの撤去、公立保育園の窓ガラス飛散防止対策や小中学校の被構造部材耐震改修工事など、安心・安全のための施策の充実への取り組みを評価する。

健康福祉の面では、新たに風疹ワクチン接種研究促進事業の実施や子宮頸がんワクチンの定期接種化により、予防接種事業費の拡充も評価する。

地域活性化策として、あま市観光協会の設立や、あま市商工会への支援、あま市市民まつり、あまつり2013への助成などを評価する。

総合的な評価として歳入に見合った歳出と経費削減に努力した決算である。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり認定。

## 国民健康保険特別会計

## 討論 (要旨)

### 【反対討論】

**野中幸夫** 医療機関の窓口で10割の負担をする資格証明書の発行が5件あった。これは、保険証の取り上げに等しい。また、1カ月単位などの保険証である短期保険証の発行が342件あった。これらは、国民健康保険税が高過ぎて払い切れない状況の中で生まれている。

国民健康保険は社会保険である。保険証を取り

上げれば、病気となっても医療機関に行けずに重篤になってしまうのではないか。

自治体は住民の命と暮らしを守ることが第一の仕事であるが、大きくかけ離れていると言わざるを得ない。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり認定。



## 後期高齢者医療特別会計

## 討論 (要旨)

### 【反対討論】

**加藤哲生** 75歳以上の方々の医療保険であるが、国保税や介護保険料なども増額であり、高齢者は二重、三重を課せられている。

今後、さらに医療費や高齢人口が増え、保険料が増え続け、必要な医療が受けられなくなることも危惧される。

現代のうば捨て山とも言われている世界でも例のないこの制度は、廃止しないと考える。

## 病院事業会計

## 主な質疑

問 給与が約9000万円増加している要因は、**管理課長** 新病院開業のため看護師を先行して確保した。さらに非常勤の医師および事務局の職員も前年度より増えている。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり認定。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり認定。

# 一般会計補正予算

- 予防接種事業費
- 施設整備費（児童クラブ）
- 施設管理費（美和文化会館）
- 企業誘致事業調査委託費

4880万9千円  
 1831万円  
 1225万6千円  
 200万円 など

平成26年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ12億8872万3千円を追加し、総額を268億3829万6千円とするもので、賛成多数により原案のとおり可決されました。

## 主な質疑

### 緊急農地防災事業費

問 事業の内容は。

産業振興課長 木田排水機場から西へ延びる幹線排水路の改修工事の上流部にあたる未改修区間について、県補助事業の採択に係る事業計画の調査で、その対象延長は250㍍を計画している。

### 企業誘致事業調査委託費

問 調査の内容は。

建設産業部長 方領地区内の遺跡などの状況を確認するため、調査範囲の中から選んだ場所を試掘する。

### 避難所キーボックス

問 学校のどの施設につけるのか。

教育部長 美和小学校と

美和中学校は体育館の玄関前に、他の小中学校は校門の道路に面する側の見やすい場所にそれぞれ1基ずつ設置する。

問 地域への説明はどうか。

教育部長 学校単位で地元の区長、自主防災会、PTAや地域の方々を対象として説明を行い、そのほかにも区長会や防災訓練などで必要に応じて説明を行っていききたい。

### ふるさと寄附金

問 今後の方針は。

総務部長 市内にはまだ数多くの地場産品があるので、今回のお米が好評であれば、市のPRとあわせて進めていきたい。

### 美和文化会館土地購入費

問 購入後、駐車場の借地面積は。

生涯学習課長 1122平方メートルとなる。



美和文化会館

（8ページにつづく）

## 討論(要旨)

### 【反対討論】

**加藤哲生** 児童クラブの整備など賛成できる内容もある。

しかし、企業誘致事業調査委託費については、15ヘクタールもの広い土地面積を、この社会状況のもとで、なぜ予算に組んでまで行わなければならないのか、方領遺跡はどうなるのか、企業がどこから来るのかなどが明らかにされなかった。

また、ゲリラ豪雨などの異常気象で、この広い農地の水はどこへ流れていくのか、貯水対策も疑問視する。

また、補正予算の採決は定例会最終日の10月1日であるにもかかわらず、9月の市広報に水ぼうそう予防接種が10月から始

まると記載されている。議会軽視ではないか。これらについて納得いかない状況であるので反対する。

### 【賛成討論】

**花木敏行** 健康づくりを支えるため、予防接種事業では4800万円の増額補正を組んでいる。これは水ぼうそうワクチン接種と聞いており、こういった感染のおそれがある疾病の発生、感染予防対策は、医療費抑制につながる事ができる。

また、埋蔵文化財保護の観点から企業誘致予定地区の調査の予算を組むことは、歴史、文化的な資源が豊富に現存する中で保全整備を行っていく上では大切なことである。さらに小中学校に緊急時に鍵の解錠が行える装置の設置予算を組んでいる。これは、災害が発生した場合、いち早く避難

した人の受け入れのため避難所が開いているのは安心感を与えてくれる、保健サービスの提供、文化財の保全整備、安心安全が確保されたまちづくりなど、本補正予算は必要と考え賛成する。

**採決結果**  
賛成多数により、原案のとおり可決。



## 視察報告

### 市民病院建設調査特別委員会

- 視察日 平成26年10月21日(火)
- 視察先 新あま市民病院建設現場

新あま市民病院建設現場隣の甚目寺総合福祉会館において特別委員会を開催しました。

当局より、病院新築工事の免震装置について説明を受けました。



その後、建設現場を視察し、設置された免震装置の前で工事担当者より説明を受けました。

新病院が採用した免震装置は5種類あり、72本の柱に72基と建物の四隅に8基の合計80基が設置されました。

また、鉄筋の配置を重点とした特定工程の中間検査が10月9日に実施され、合格した旨の報告がありました。







**櫻井 信夫** 議員(13 ページ)

1. あま市の貯金と借金について

**松下 昭憲** 議員(14 ページ)

1. 木田駅第二次南伸工事について

**藤井 定彦** 議員(14 ページ)

1. 駅周辺の自転車駐輪場について

**花木 敏行** 議員(15 ページ)

1. ガーデンブリッジ架け替え

**後藤 幸正** 議員(15 ページ)

1. スポーツを通じた健康増進の取り組みは

**柏原 功** 議員(16 ページ)

1. 地区防災計画の推進を

**石田 良雄** 議員(16 ページ)

1. 企業誘致について

**加藤 哲生** 議員(10 ページ)

1. 小規模企業振興基本法について

**林 正彦** 議員(10 ページ)

1. あま市民病院について

**野中 幸夫** 議員(11 ページ)

1. 介護保険について

**橋口 紀義** 議員(11 ページ)

1. 組織・機構改革、職員意識改革について

**寺本 隆男** 議員(12 ページ)

1. 肺炎球菌ワクチンについて

**松浦 茂昌** 議員(12 ページ)

1. 町内会組織について

**岩本 一三** 議員(13 ページ)

1. 飼い主のいない猫への対策





## 小規模企業振興基本法について



加藤 哲生 議員

**問** 小規模企業振興基本法が平成26年3月に閣議決定された。従業員20人以下の小規模企業が地域経済の支えとなる法律である。市では、小規模企業振

興基本法の把握をしているか。  
**建設産業部長** 安定的な雇用の維持などを含む事業の持続的発展を目指すことは把握している。  
**問** 小企業、自営業者が自立できる環境をどのようにつくるのか。市での小企業、自営業者の実態は。  
**建設産業部長** 商工会と連携を図り、小企業、自営業者からのニーズをくみ取りながら自立できる

環境を整えていく。平成24年経済センサスによる小規模事業者数は、2204事業者となっている。  
**問** 小規模企業振興基本法に基づき、小企業、家族経営に対する支援策は。  
**産業振興課長** 施策の基本計画の状況を把握し、県、県商工会連合会の指導も含め、市商工会と連携を図り、市のニーズにあつた事業を検討していく。

**問** 小規模企業支援に対する市長の考えは。  
**市長** 今後も中小企業に対しては、いろいろな角度から支援をしていく。関係機関と協議し、国の基本計画を政策に反映させ、あま市の発展に努めていきたい。

## あま市民病院について



林 正彦 議員

**問** 新病院は平成27年度開院予定だが、平成25年度の経営目標と実績はどうであったか。  
**市民病院事務局長** 目標入院患者数1日平均10

4人に対し、実績は64・9人、達成率は62%。目標外来患者数1日平均300人に対し、実績は268・9人、達成率は89%となった。収支実績は、総収入21億2400万円、総支出22億8800万円となった。  
**問** 今後の対策、対応は。  
**管理課長** 医師確保は取り組み中である。他病院、開業医との相互連携によ

る患者の受け入れや、救急や時間外患者に対してのファーストタッチの徹底、乳がん検診や企業健診の宣伝を行い、積極的な受け入れをしたい。  
**問** 昨年からの経営取り組みの状況、結果は。  
**市民病院事務局長** 医師確保については、名市大、愛知医大などへ要請している。病床利用率は62・4%から65・6%と改善しており、救急患者の受け入れ率は、平成22年度

の67%から平成25年度には83%と向上した。医療ソーシャルワーカーを配置し、医療機関との連携強化、紹介患者の受け入れ調整、相談体制などの充実を図った。  
**問** 平成28年度以降の経営目標や中長期経営計画はどうなっているか。  
**市民病院事務局長** 経営コンサルタントなどの活用も視野に入れ、総務省ガイドラインに沿った形で新たな病院経営計画を

今後策定していきたい。



新病院建設現場

デイサービス利用者



## 介護保険について



野中 幸夫 議員

**問** 国の法律が大幅に変わり、要支援1、2と認定された方々の訪問介護、通所介護などを打ち切る方向である。  
また、特別養護老人ホームの入所の対象は、

要介護3、4、5の方々の方向が示された。市はどのような計画で進めていくのか。  
**福祉部長** 要支援1、2の方々のうち、通所介護、訪問介護などの専門的なサービスを必要とする方には、これまでどおりのサービスを提供する。それ以外の方には、NPO、ボランティアなどによる多様なサービスを活用する。平成29年4月をめどに開始する。

**問** 要支援の方々から介護保険から外されてしまう。あま市では、要支援1の方が約390人、要支援2の方が約380人いる。保険料を払っているのに給付が受けられない状況になる。  
80代の要支援2の女性にお話を聞いたところ、「ひとり暮らしで足が悪く、部屋の中もつえを使って歩いている。週1回ヘルパーに掃除をしてもらっている」と話して

いた。こうした方々のサービスを後退させないことが重要である。  
**高齢福祉課長** 改正案の中にも、多様なサービスで現行のサービスを引き続き利用できることが残されている。

## 組織・機構改革、職員意識改革について

**問** 地域主権時代に見合った質の高い住民サービスを提供できる人材育成を行うべく、平成23年行政改革大綱や人材育成基本プランが策定され

た。多様化する業務や市民ニーズに迅速かつ適切に対応するため、意思決定の迅速化、指揮命令系統、責任所在の明確化を図るとあったが、人事、研修、評価制度の進捗と成果は。

**企画財政部長** 組織・機構の見直しについては、合併に伴う電算システムの移行業務などが標準化したことにより、情報課

を企画政策課情報統計係に簡素化した。また、パートナースhip推進室を新設し、市民・団体などとの協働のまちづくりを推進する体制を整えた。研修については、管理職研修などを毎年度、継続的に実施した。

**災害発生時の危険箇所の整備、道路拡幅や歩道整備、下水・排水路整備の要望が多かったが、迅速に対応できたか。**  
**建設産業部長** 限られた財源の中で、優先順位を見定め、可能な限り迅速に対応している。

**問** 国の新法などにも対応できるよう組織・機構改革の見直しが必要では。  
**人事秘書課長** 今のところ見直しの予定はない。



橋口 紀義 議員

**企画財政部長** 組織・機構の見直しについては、合併に伴う電算システムの移行業務などが標準化したことにより、情報課

**問** 職員の意識改革は進んだのか。  
**企画財政部長** 研修などを通じて、意識改革できたと考える。

**問** 市民アンケートでは、



パートナーシップ推進室



## 肺炎球菌ワクチンについて



寺本 隆男 議員

**問** あま市の助成と今回の定期接種について、助成対象者の違いは、**市民生活部長** 市の助成制度については、70歳以上が対象となっている。今回の定期接種について

では、65歳以上または60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身辺の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方およびヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方が対象となる。(注)

**問** 助成金額の違いは、**市民生活部長** 市の助成制度は接種費用に対して市から3000円の助成を行い、差額を個人負担することとなっている。今回の定期接種については、医療機関との委託契約の中で接種者には2000円の個人負担をしていただき、差額を市が負担する。生活保護世帯の対象者については、無料で接種できるような事務を進めている。

**問** ワクチンに対する副反応は、**市民生活部長** 5年以内に肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は、接種により注射部位の疼痛(とうつう)、紅斑(こうはん)、硬結(こうけつ)などの副反応が初回接種よりも頻度が高く、程度が強く発現すると報告されている。

(注) 定期接種の対象者については、経過措置が設けられています。詳しくは地区保健センターへお問い合わせください。

## 町内会組織について



松浦 茂昌 議員

**問** 全国的に天候不順のため豪雨による災害が多く発生している。つい先ほどの三重、岐阜、広島県では大きな被害が出ている。あま市においては、そ

のような被害はなかったが、もし災害が起きた場合、町内会組織が必要であると思う。市の考えは、**総務部長** 町内会(自治会)は同じ地域に住む人々が、さまざまな活動を通して、地域の連帯感を高め、住みよい地域をつくっていくためのものとも身近な住民自治組織である。協働のまちづくりを推

進している市としても町内会は必要不可欠で重要な組織であると考えている。**問** 必要不可欠で重要な組織であるにもかかわらず、入会者は減り、脱会者は増すばかりである。町内会は任意の団体であり、今後、会員が少なくなり、不特定多数の方が利用する防犯灯の修理・電気代が払えなくなった場合はどうすればよいか。

**総務部長** 町内会活動や必要性などを広くPRし、支援していきたい。**市長** 町内会に一人でも多く入っていただく形づくりを引き続き行っていく。何か困りごとがあったら総務へ相談してほしい。



防犯灯



櫻井 信夫 議員

**問** 一般会計と病院事業の貯金（基金残高）と借金（地方債残高）について、平成23年度から平成31年度までの実績と推移予測は。

## あま市の貯金と借金について

**企画財政部長** 一般会計ベースの基金残高は平成23年度77億円、平成25年度83億円、平成31年度6億円。一方、市債残高は平成23年度185億円、平成25年度196億円、平成31年度318億円。病院事業債の残高は平成23年度4億円、平成25年度14億円、平成31年度75億円。

**問** 平成31年度までの主な事業と概算要求額は。

**企画財政部長** 新庁舎建設事業は85億円で、合併推進債を活用する。新学校給食センター整備に28億円。公共施設老朽化対策に毎年11億円から13億円。災害対策に9億円など。

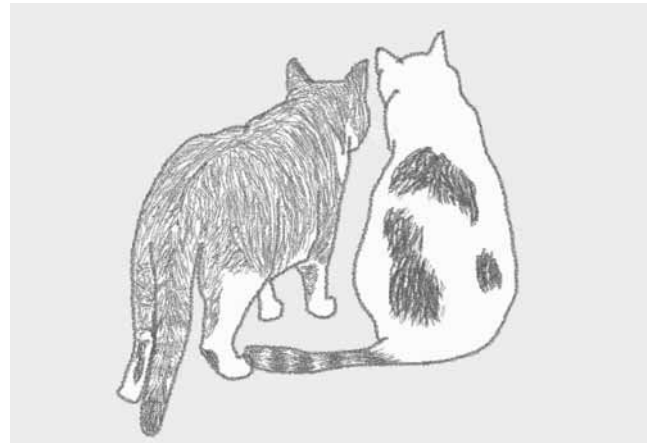
**問** 今回の概算では、平成31年度の借金は一般会計と病院事業で約400億円、これに下水道事業を加えると約500億円が見込まれる。住民の福祉の増進は第一義的であり、これを圧迫するのは。

**早川副市長** 今回の基金残高、市債残高は平成31年度までの概算要求ベースであり、あま市の財政が借金を背負わない形づくりに持つていくよう精査し、選択、優先順位をつける。

また、住民の福祉については、ソフトとハードを合わせて第一義的に考



市役所本庁舎



## 飼い主のいない猫への対策



岩本 一三 議員

**問** 動物愛護法の改正で引き取りが拒否できることになり、年間13万匹強殺処分されていた猫たちが、一代限りの命を全うすることができる。その反面、飼育放棄で野良猫

化する。そこで「野良猫対策、自然減少」を目指す取り組みは。

**市民生活部長** 市内にある猫に関係する団体と定期的に情報・意見交換会などを開催し、市も協力している。不妊・去勢など自然減少を目指す取り組みを研究していく。

**問** 生まれた時からの家なき猫に愛猫家や近所の方が餌を与え、糞、においなどでトラブルがあるとの相談があるが、聞いて

いるか。不妊・去勢費用を補助している市町村は。

**環境衛生課長** 苦情も多く、飼う意思がなければ餌やりをやめるようお願いしている。不妊・去勢費用は、雄、雌に差はあるが、1万5千円から2万円ほどと聞いている。県内12市町村で補助している。

**問** 事故死などで処理された件数は。人と動物が共生できる環境整備は、

行政が行う必要がある。資金面での補助は。

**環境衛生課長** 平成25年度は450匹を処理した。補助は今後、研究していく。指導についても、市広報紙を活用してPRしていく。



## 木田駅第二次南伸工事について



松下 昭憲 議員

**問** 木田駅第二次南伸工事の進捗状況と、これからの継続は。

**建設産業部長** 木田駅周辺整備事業は、名鉄木田駅のバリアフリー化の事業による南側改札口設置

計画に合わせたアクセス道路の整備や、木田地区の雨水対策を進めるため、都市計画道路木田駅前線を主に、地下式調整池およびアクセス道路の整備を行った。

整備計画として効率的・経済的に進めるよう検討している。

雨水対策が重要な事業となっている。

あま市全体で考え、適切に優先順位をつけながら、計画的な整備を進めていきたい。

## 駅周辺の自転車駐輪場について



藤井 定彦 議員

**問** 防犯カメラも含む管理体制は。

**建設産業部長** 管理体制については、名鉄甚目寺駅周辺については、名鉄七宝駅および木田駅については、シルバー人材センターが管理を行っている。

整備センターが監視カメラを含め管理運営を行い、名鉄七宝駅および木田駅については、シルバー人材センターが管理を行っている。

**問** 甚目寺駅周辺では、放置自転車の禁止区域が設定され、監視員のシルバーの人が見回りをしているにもかかわらず、年に150台ほどが処分されている。駐輪場不足ではないか。

**建設産業部長** 利用率には幾分余裕があるため、不足しているとは考えていない。



甚目寺駅北自転車駐輪場



## ガーデンブリッジ架け替え



花本 敏行 議員

**問** 前は木橋であったが、新しい橋の特色は。  
**建設産業部長** 景観を重視し、アーチ型を採用した。アーチ部を色が変化する照明でライトアップする。

**問** 工事には公園の一部撤去が必要となる。復元の際には、橋との一体性を持った景観が大切であり、地元の要望をくむことも大切である。市はどのように考えるのか。  
**建設産業部長** 資材搬入のため、公園内の樹木を一部撤去する。地元より寄付をいた、たく桜の苗木の管理や、公園内の日常管理を地元ボランティアにお願する。桜が大きくなるには時間がかかる

が、春の桜と照明の色の変化で憩いの場となると考える。  
**問** ウォーキングロードとしての機能を付加し、対岸道路を整備する考えは。  
**建設産業部長** 今回は対岸道路の整備は予定していない。リバーサイドガーデンは南北350メートルにわたり、ウォーキングロードとして活用できる。新たなコースとしてガーデンブリッジを含めた

コースを検討している。  
**問** 橋の照明とあわせ、リバーサイドにイルミネーションを設置すれば、まちの起爆剤に一役買うと思う。地元同意が必要だが、市の考えは。  
**都市計画課長** 設置する考えはないが、地元有志などで設置の意向があれば協力していきたい。

## スポーツを通じた健康増進の取り組みは

**問** 健康増進に貢献しているスポーツ団体や体育協会、ラジオ体操連盟、昨年12月に発足したあまスポーツクラブなどの運営に対するあま市の支援



後藤 幸正 議員

状況は。  
**教育部長** 各団体への支援の状況は、あま市体育協会、スポーツ少年団、あまスポーツクラブに補助金を交付し、財政的な支援をしている。また、役員会などへの出席、各種大会への協力、事務的な支援も行っている。なお、体育協会やスポーツ少年団に所属していないクラブやチームには財政

的な支援はしていない。  
**問** 市民の健康と活力を維持してもらいたい。その役割を担うのが、各スポーツ団体であり、身近なラジオ体操であり、あまスポーツクラブであると考え。行政が多方面から支援する考えは。  
**教育部長** あまスポーツクラブについては、設立準備時から支援を行っている。今後の運営については人材の育成と、魅力ある事業を展開してい

るよう施設利用料の減免や人的支援を考えている。  
**教育長** 市の教育委員会としては、各組織や個人それぞれの立場で目標が達成できるように、情報提供を初め、できる範囲で支援して行きたい。特に、あまスポーツクラブに対しては、地域コミュニティづくりや、多様なスポーツプログラムを提供出来るようソフト面での支援をしたい。



市民ラジオ体操の集い



## 地区防災計画の推進を



柏原 功 議員

**問** 国が策定するのが防災基本計画、県や市が策定するのが地域防災計画である。今回、地域住民や事業者が自発的に防災活動に関する計画、「地区防災計画」を作成するこ

とができる仕組みを国が定めた。この地区防災計画について、あま市の取り組みは、

**総務部長** 東日本大震災において、自助、共助、公助がかみ合わないと、大規模広域災害後の災害対策が速やかに稼働しないことが強く認識された。その教訓を踏まえ、平成25年の災害対策基本法一部改正では、大規模、広域な災害に対する即応力の強化など、住民などの

円滑かつ安全な避難確保、避難者の保護対策の改善、平素からの防災への取り組みの強化の修正がなされた。

この計画は、地区の特性に応じて、平常時、発災直前、災害時、復旧・復興期の各段階で想定される防災計画を整備するもので、本年の愛知県防災計画でも見直しが行われ、これに基づいて、あま市においても、今年度見直しを行っていく予定

である。

**問** 市が積極的にこの計画を進めれば、自主防災組織が強くなり、災害に強い地域をつくるだけでなく、地域コミュニティや大字組織が強くなると考える。推進すべきと考えるが。

**総務部次長兼安全安心課長** 各区の自主防災会役員が出席する情報交換会でPRを考えている。

## 企業誘致について



石田 良雄 議員

雇用拡大を期待できる企業を積極的に誘致する。

**問** 来てもらえるための特別な措置はあるのか。

**建設産業部長** 現在、奨励金の交付を行っている。

今後は、雇用促進奨励金、環境保全対策設備等導入補助金のほか、緑化・緑地に関する規制の緩和措置、税制の優遇措置など

担当部局と調整を図り、企業誘致に取り組みたい。

**問** 財源を安定させ、雇用も増やすために企業誘致は必要不可欠だが、どのような企業を誘致する

のか。

**建設産業部長** 税収増や

**問** 現段階でどの場所を予定しているのか。

**産業振興課長** 補正予算で提案している方領地区だが、決定までには至っていない。

**問** 企業誘致を進めるに当たり、市として何が大切と考えるのか。

**産業振興課長** 地元の皆様と協力・調整し、優良企業の発掘に努めたい。

**問** 企業誘致をし、一生涯住み続けたいあま市にするために、上げた税

収、安定した財源で市民サービスを拡充してほしいが、市としては、どのように考えているのか。

**市長** 企業誘致を行い、自主財源が上がり、今以上に余裕ができた場合には、必ず市民に喜んでいただけるような事業を行っていく。



方領地区の水田



追跡

# 一般質問

その後  
どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

## 質問

平成 27 年度から児童クラブの対象が小学 6 年生までとなるが、対応は。

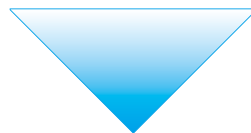


## こうなった

アンケート調査により平成 27 年度以降の利用見込み数を算出した。その結果、6 年生までを受け入れることが困難な施設に対しては、計画的に増設などを行う。(9 月議会において、七宝小に増設、秋竹小に新設する補正予算を可決)

## 質問

道路の安全対策として、カラー舗装をしては。



## こうなった

通学路緊急合同点検の結果、要対策箇所として指摘された 6 地区にカラー舗装などの対策を実施した。



秋竹小学校



交差点に施されたカラー舗装などの安全対策

# 議案等審議結果

議案番号	件名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
議案第39号	平成26年度あま市一般会計補正予算（第2号）	総務文教 厚生 建設産業	全員賛成 賛成多数 賛成多数	賛成:20 反対:4
議案第40号	平成26年度あま市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第41号	平成26年度あま市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第42号	平成26年度あま市営住宅管理事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第43号	平成26年度あま市介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第44号	平成26年度あま市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第45号	平成26年度あま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:23 反対:1
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について(近藤哲夫氏)	付託省略		賛成:24 反対:1
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について(渡邊茂治氏)	付託省略		賛成:25 反対:0
請願第2号	解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出を求める請願	総務文教	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第3号	子ども医療費中学校卒業まで完全無料化を求める請願書	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第4号	精神障害者医療費助成制度の拡大を求める請願書	厚生	全員賛成 採択	全員賛成 採択
陳情第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書	総務文教	全員賛成 採択	全員賛成 採択
発議第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について	付託省略		賛成:24 反対:0

議案番号	件名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
認定第1号	平成25年度あま市一般会計歳入歳出決算の認定について	総務文教 厚生 建設産業	全員賛成 賛成多数 賛成多数	賛成:21 反対:3
認定第2号	平成25年度あま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	厚生	賛成多数 原案認定	賛成:22 反対:2
認定第3号	平成25年度あま市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	総務文教	全員賛成 原案認定	賛成:24 反対:0
認定第4号	平成25年度あま市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設産業	全員賛成 原案認定	賛成:24 反対:0
認定第5号	平成25年度あま市営住宅管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務文教	全員賛成 原案認定	賛成:24 反対:0
認定第6号	平成25年度あま市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	厚生	全員賛成 原案認定	賛成:24 反対:0
認定第7号	平成25年度あま市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設産業	全員賛成 原案認定	賛成:24 反対:0
認定第8号	平成25年度あま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	厚生	賛成多数 原案認定	賛成:21 反対:3
認定第9号	平成25年度あま市水道事業会計決算の認定について	建設産業	全員賛成 原案認定	賛成:24 反対:0
認定第10号	平成25年度あま市病院事業会計決算の認定について	厚生	賛成多数 原案認定	賛成:21 反対:3
議案第35号	あま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:21 反対:3
議案第36号	あま市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:21 反対:3
議案第37号	あま市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:21 反対:3
議案第38号	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律及び母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴う関係条例の整理等に関する条例について	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0

## あま市議会

検索

<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

○議会中継…本会議での一般質問の様子や最終日の採決の様を、ケーブルテレビのクローバーチャンネル（デジタル111チャンネル）にて放映します。放映は生中継とその日の午後7時から再放送しています。（インターネットでも録画配信を行っています。）

○会議録検索…本会議や委員会の会議録を公開しています。探したい言葉を入力すれば容易に検索することができます。

## あなたも議会を傍聴しませんか？

今、あま市ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのであろう。あなたの身近なことも議会で論議されているのかもしれない。あま市役所甚目寺庁舎3階の議会事務局で、住所・氏名などを記入していただくだけで、誰でも傍聴できます。白熱した質問と答弁を、あなたもぜひ見に来られては…。

音声の間こえにくい方のために、赤外線補聴システムを設置しています。ご希望の方にはヘッドホン付き受信機をお貸ししますので、当日、傍聴受付までお申し出ください。

※9月議会の傍聴者数(委員会含む) 延べ32人

次回の定例会は、**11月28日（金）**からの予定です。

## インターネット議会中継を

### インターネット議会中継のページ

<http://www.ama-city.stream.jfit.co.jp/>

**ご利用ください**

## 12月定例会予定

11月28日(金)	議案説明
12月4日(木)	一般質問
12月5日(金)	議案質疑
12月9日(火)	総務文教委員会
12月10日(水)	厚生委員会
12月11日(木)	建設産業委員会
12月18日(木)	討論・採決

※日程は変更となる場合があります。

## 編集後記

本議会だよりは、9月定例会について掲載しています。

9月議会は平成25年度の決算を認定する議会であり、委員会も含め7日間にとりわけ会議を開催し、平成25年度決算のチェックと新年度予算にどう生かしていくかなどの視点から、慎重に審査が行われました。

議会だより編集特別委員会は、より開かれた議会を目指し、今後もしっかりしやすい議会情報の提供に努めていきます。

(横井)

### ■議会だより

編集特別委員会  
委員長 石田良雄  
副委員長 柏原哲生  
委員 加藤定彦  
藤井幸彦  
後藤正彦  
横井正秀  
櫻井信夫  
伊藤嘉規  
岩本一三

発行/あま市議会 編集/議会だより編集特別委員会

〒490-1198 愛知県あま市甚目寺二伴田76番地 TEL 052-444-3174 FAX 052-444-4055